

## 登録医のご紹介



### 大室医院 おおむろいん

- 住 所：墨田区太平 3-2-7 電話番号：03-3622-0629
- 診療内容 内科・皮膚科・小児科

#### 院長ご挨拶

小生は昭和36年に同愛記念病院で生まれました。当院は、内科・皮膚科・小児科の診療所です。その人らしい生活が続けられるよう何でも相談できて、必要な時は専門医・専門医療機関へ紹介する、かかりつけ医であることを心がけています。地域の皆様、お気軽にご相談ください。



大室 博之 院長

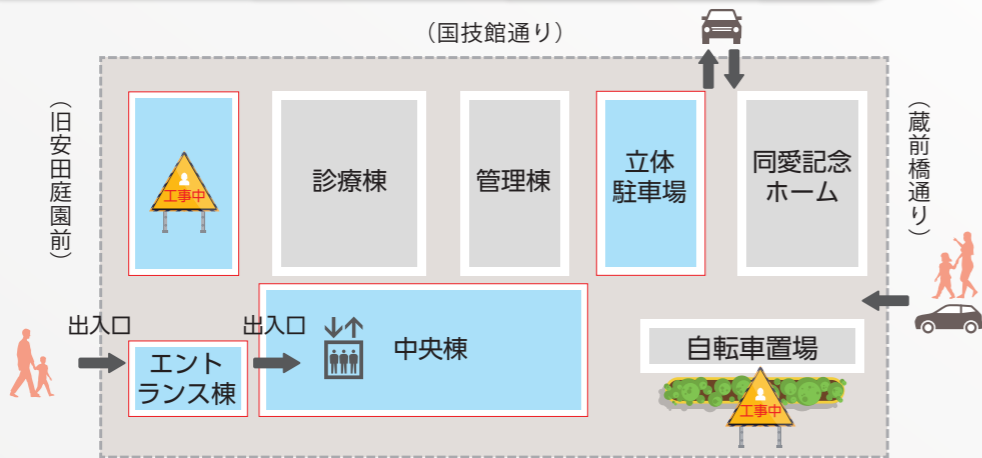


大室医院外観

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	—
16:00~18:00	○	○	—	○	○	—	—

※第2、第4土曜日休診 臨時休診あり

## 同愛記念病院/建物配置図 2023年1月1日現在



ホームページアドレス <http://www.doai.jp/>

#### 診療科目のご案内

循環器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、消化器内科、神経内科、一般内科、神経科・精神科、呼吸器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

#### 交通のご案内

- JR総武線 両国駅から徒歩7分
- 都営地下鉄12号線(大江戸線)両国駅から徒歩5分
- 都営地下鉄浅草線 蔵前駅から徒歩10分
- 都営バス(両国駅行)旧安田庭園前停留所から徒歩1分
- 都営バス(錦糸町駅~大塚駅)石原1丁目停留所から徒歩3分
- 墨田区内循環バス(南部ルート)旧安田庭園・同愛記念病院停留所から徒歩1分

### 社会福祉法人 同愛記念病院

#### 広報誌「医療連携ニュース Vol.2」

発行 社会福祉法人同愛記念病院  
発行日 令和5年1月6日  
編集人 広報誌編集委員 三井 光義  
印刷 日本印刷株式会社

〒130-8587 東京都墨田区横綱2丁目1番11号  
TEL.03-3625-6381(代) FAX.03-5608-3211

[本機関誌の記事内容を他の用途に転用することを禁ずる]

#### 編集後記

中央棟の移転から4ヶ月が経過しました。職員も、患者さんが迷わないために案内を立てたり看板を作ったり、試行錯誤の日々でした。

診療棟の改修がはじまり、受診される患者さんにはご迷惑をおかけしています。小児科外来が1階に移動となりました。安心した環境でお子さんやご家族の受診できるように対応していきたいと思っております。

2023年は、今まで以上に地域になくてはならない病院として職員一丸となつてがんばりたいと思っております。

よろしくお願い致します。

(T)

# 同愛記念病院広報誌 医療連携ニュース

秋冬号  
vol.2  
2023年1月



#### 同愛記念病院の理念

同愛記念病院は、地域の要請をふまえ地域の基幹病院として親切で適切な医療を提供し社会に貢献します。

#### 病院運営基本方針

私たちは、次により地区の基幹病院としての役割を果たしてまいります。

- ① 地域に密着した救急医療及び「すみだ平日夜間救急こどもクリニック」を行います。
- ② 医療機関、施設、医師会等との連携を推進し、地域の医療及び福祉サービスの充実と向上に貢献します。
- ③ 患者さんの権利を尊重し、インフォームドコンセントを充実させ、患者さんに寄り添った医療を行います。
- ④ 職員は絶えず自己研鑽を行いより高い専門性を発揮できるよう努めます。
- ⑤ 医療安全対策を強化し、信頼される医療を行います。
- ⑥ 医療を通じて社会貢献を継続するために健全な病院運営を行います。

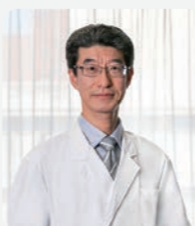


院長  
平野 美和

新年あけましておめでとうございます。

当院は、「地域の要請をふまえ地域の基幹病院として親切で適切な医療を提供し社会に貢献します。」を理念としております。昨年4月の地域医療支援病院の承認により、さらに地域のクリニックの先生方等を支援し、感染医療・災害医療を含め効率的な医療提供体制の構築に取り組んでおります。また、昨年8月には新しい耐震基準に則った病棟の「中央棟」が完成し使用を開始しております。本年も地域の中核急性期病院としての機能、診療のレベルアップや医療設備の充実を図り、親切で適切な医療の提供に努めてまいります。

当院の歴史を紐解くと、1923年の関東大震災の際に米国赤十字社を中心に集められた義援金をもとに、当時の日本政府が設立した財団法人を母体として病院が建設され診療が始まりました。昨今では、自然災害が頻発しております。震災復興の拠点病院として設立された歴史を踏まえ、災害拠点病院としての役割を担うことも当院の重要な役割だと考えています。2023年は病院も新しくなる中で、地域の病院及びクリニックの先生方や介護福祉施設などとの一層の連携を図りながら、住民の方々により頼っていただけるような病院をめざし、取り組んでまいります。



副院長代理  
地域医療連携室長  
手島 一陽

新年あけましておめでとうございます。

昨年は入院病床や手術室などを擁する新しい「中央棟」が長い建設期間を経てようやく稼働に至り、本年は外来診察室や検査関連の諸センターなどを擁する診療棟の改修工事と、皆様にはご不便をおかけする期間が続いております。整備が落ち着きましたら、建物だけではなく私たち職員も心機一転、より一層地域医療に貢献できますよう励んでまいります。

昨今の繰り返されるCovid波の影響で、なかなか「顔の見える」連携とは行きませんが、是非「心は通い合う」医療連携を構築してまいりたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



看護部長  
佐藤 美幸

新年のお慶びを申し上げます。

「広過ぎる〜!」中央棟への移転当初、病棟スタッフ達から発せられた贅沢な悩みも、今は4ヶ月が経過し、当院こだわりの広い病棟の廊下を自慢する声に変化しました。中央棟は病棟だけでなく、手術室・中央材料室・薬剤科・栄養管理科(厨房)も新しくなりました。1階に設置された免振装置に患者さまやスタッフが震災時の大きな揺れから守られ、安全・安心を確保された中で、医療や看護が行えるようになりました。この中央棟で新年を迎えられたことはとても幸せな事だと思います。

移転を機に「常に優しく思いやりのある患者さま中心の看護サービス」に向け、より一層取り組んでまいりたいと思っております。2023年は、外来、救急部、内視鏡センター等々、グランドオープンに向けた引越越しを控えております。多くの地域の方々や医療連携していただいている皆さま方に選んで頂けるように、頑張ります。

あけましておめでとうございます。昨年は当院も万全の感染対策を行い、新型コロナウイルス感染患者さんを受け入れながら通常の医療との両立に奔走した一年でした。

新型コロナウイルスの蔓延のみならず、昨年からのロシアのウクライナ軍事侵攻で世間は一変し、経済のみならず医療も大きな影響を受けました。

そんななかで昨年の「中央棟」開設や地域医療支援病院認定は当院にとって大きな出来事でした。引き続き診療棟改修、そしてグランドオープンに向けて着々と準備を進めてまいります。今年には災害拠点病院の指定を目指してまいります。診療面でも患者サポートセンターを一層充実させて外来受診時(入院前)または入院早期から院内の多職種や地域と連携し、退院後も住み慣れた家庭や施設などの療養の場で安心して生活が送れるように支援いたします。患者さんやご家族のご希望・不安などを把握し、様々な職種と連携して療養生活環境調整をします。そして、退院先や在宅サービスの選択肢を広げ、地域との連携をより密にして切れ目のない支援を行い、安心して在宅療養・施設入所・転院へと継続できるよう取り組みます。

今後更に気を引き締め、万全の対策を行いつつ、皆様との連携をより密にして、患者さん受け入れの充実、高度で安全で心のこもった診療・看護を行い、地域医療支援病院としての責務を果たしてまいります。どうかよろしくお願い申し上げます。

### 患者サポートセンターのご紹介

### 中央棟2階

エントランス棟の病院入口からエスカレーターで中央棟2階に上がると「総合受付」(再診受付・保険証確認・診察後の計算・会計を行います)の奥に「患者サポートセンター」があります。

患者サポートセンターでは、初診患者さん(紹介状を持参の方を含みます。)の受付をはじめ、入院が決定した方への入院前から入院生活～退院後の支援・療養相談を看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、管理栄養士、事務職などの多くの職種が患者さんのサポートを行います。



### 患者サポートセンター業務内容

- ・初診患者さんの受付を行います。
- ・紹介状の電子カルテ取り込みや、検査室への案内等を行います。
- ・普段飲んでいる薬やアレルギーについての聞き取りや、検査、手術の時に中止する薬の確認等を行います。
- ・検査や手術についての説明を補足します。
- ・栄養士が食事についてのお話をうかがい、食生活のアドバイスをします。
- ・医療ソーシャルワーカーが、医療費の相談、介護保険や福祉の相談に応じます。
- ・その他の心配ごと、患者相談窓口で対応します。
- ・退院や転院の支援を行っています。
- ・患者さんの申請に基づく診断書等の受付を行います。



### 放射線科のご紹介



血管造影装置



透視装置



80列CT装置

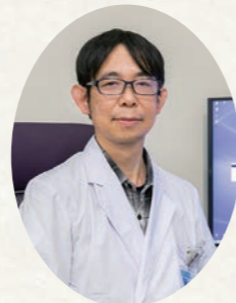


MRI装置



マンモグラフィ

当院では、新病棟の整備に合わせて画像診断機器の更新を積極的に行っています。2022年10月にはマンモグラフィ装置及び透視装置の更新を行いました。マンモグラフィでは、画質が以前のものより改善したことに加え、フラットパネルになったことで撮影自体もスムーズに行えるようになっていきます。また、患者さんがリラックスしやすい設計がなされており、安心して検査を受けていただけるようになっています。透視装置では、高画質・低被曝の撮像が可能になったことに加え、断層撮影(トモシス)といった新たな撮像方法も可能となっています。また、新病棟の使用開始に先駆けて、2022年1月には80列のCTを更新しています。こちらの機器では、最新のX線検出器を搭載しているほか、人工知能(AI)技術を応用した再構成や金属アーチファクトを低減する再構成技術を使用することで、高画質・低被曝の検査が可能となっています。今後は、内視鏡センターの整備に合わせて新たな透視装置の導入が決定しています。また、血管造影装置などの更新も行く予定です。



放射線科 部長  
矢内 秀一 医師

### エントランス棟のご紹介

病院敷地南側(旧安田庭園前)に病院の出入口となる「エントランス棟」があります。昨年8月の中央棟と同時に完成し使用を開始しております。1階病院出入口は、6段の階段があり、車いす使用の方、歩行が困難な方々の通院にはご迷惑をおかけしております。外構整備終了後のグランドオープンではスロープの設置など改善いたします。それまで迂回経路の中央棟1階出入口の使用などお願い申し上げます。



外観



1F: 病院出入口・敷地内薬局(アイン薬局)



3F: 院内保育園(定員30名、保育対象:原則産休明けから小学2年生までの乳幼児及び就学児)



2F: コンビニ(セブンイレブン)

### 診療棟改修について

外来診療を行う診療棟(5階建)の改修工事と旧病棟(9階建)の解体工事(解体後平面駐車場となります)を2023年7月まで行っております。当院をご利用の皆様方には大変ご迷惑をおかけしております。ご理解ご協力をお願い申し上げます。

### 工程表

	改修工事 11ヶ月												外構・準備	オーパ	
	2023年(令和5年)														
	I 期			II 期		III 期		IV 期		V 期					
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月~12月		
診療棟改修工事	診療棟1階	小児科工事			小児科使用				急患室工事						
	診療棟2階	生理機能検査・中央処置工事			生理機能・中央処置使用開始										
	診療棟3階				整形外科(旧小児科)工事	内科系工事			内科系、整形外科使用開始						
	診療棟4階	透析室工事			透析室使用開始				外科系工事①						
	診療棟5階				5階(リハビリテーション科・内視鏡室・健診センター)工事				5階(リハビリテーション科・内視鏡室・健診センター)使用開始						
旧病棟解体工事				旧病棟建物解体										旧病棟解体完了	
外構工事														旧病棟跡地外構整備	
グランドオープン														グランドオープン ●	

### 通行可能な経路

2022年1月現在

